

設備停止リスク 診断チェックシート

あなたの工場は大丈夫？ 5分でできる設備保全セルフチェック

当てはまる項目にチェックを付けてください。

1 設備停止・トラブルの発生状況

- | | |
|--|---|
| ☐ 設備停止が年に数回以上発生している | ☐ 同じ設備で類似トラブルが繰り返し発生している |
| ☐ 設備トラブルによる緊急対応が発生することが多い | ☐ 設備停止により生産計画や納期への影響が生じている |

2 点検・保全業務の運用状況

- | | |
|---|---|
| ☐ 点検や異常判断が特定の担当者の経験や勘に依存している | ☐ 点検基準や異常の判断基準が明確になっていない |
| ☐ 若手担当者だけでは判断が難しい | ☐ 技術継承に不安がある |

3 設備状態の把握状況

- | | |
|--|---|
| ☐ 振動変化を継続的に把握できていない | ☐ 温度変化を継続的に把握できていない |
| ☐ 異音など、音の変化を記録・比較できていない | ☐ 設備の状態を数値や推移で確認できていない |

4 データの可視化・活用状況

- | | |
|--|---|
| ☐ 設備ごとの状態や変化を一覧で確認できていない | ☐ 過去と現在のデータを比較できていない |
| ☐ 設備データを環境データを関連付けて確認できていない | ☐ データの変化を点検や保全の判断に活用できていない |



チェック数の合計とチェックが多かったカテゴリの両方を確認してください。

チェック合計

項目

診断結果

チェック数とチェックが多かったカテゴリから現在の状況を確認してみましょう。
気になる項目が多かった方はお気軽にご相談ください。

診断レベルごとの詳細

0～4項目

現状維持レベル

設備保全の基盤は比較的整っています。
現在の取り組みを継続し、定期的に振り返りましょう。

5～8項目

改善検討レベル

一部の設備や保全業務に改善余地がある可能性があります。
影響の大きい設備から確認しましょう。

9～12項目

見える化推奨レベル

設備状態や変化を十分に把握できていない可能性があります。
継続的に確認する仕組みを検討しましょう。

13項目以上

優先対策レベル

設備停止リスクや保全業務上の課題が複数ある可能性があります。
優先順位を付けて現状を整理しましょう。

チェックが多かったカテゴリから見える課題



設備停止・トラブルの発生状況

突発停止や類似トラブルが発生し、生産への影響が生じている可能性があります。
停止頻度と影響の大きい設備を整理しましょう。



点検・保全業務の運用状況

点検・判断の属人化や、記録・共有、原因分析に改善余地がある可能性があります。
点検基準と対応履歴の共有方法を見直しましょう。



設備状態の把握状況

振動・温度・音など、設備状態の変化を客観的に把握する情報が不足している可能性があります。
設備状態を継続的に確認できる方法を検討しましょう。



データの可視化・活用状況

記録した情報を比較・共有し、保全判断に活用する仕組みに改善余地があります。
データを一覧化し、点検・保全判断に活用しましょう。

SCSK SCSK株式会社

CollaboView 事業担当窓口

E-mail

CollaboView-info@scsk.jp

URL

<https://collaboview.scsk.jp/>

※記載の会社名および製品名は弊社の商標もしくは登録商標です。

※記載製品の仕様は予告なしに変更する場合がございます。

※記載の内容は2026年9月現在のものです。